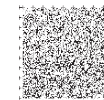
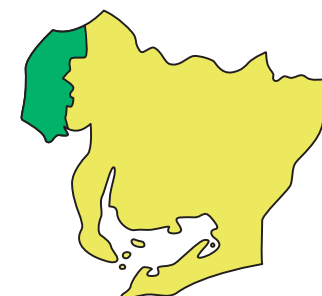


工業用水道事業のあらまし

愛知県の工業用水道事業は、愛知用水、尾張、西三河及び東三河工業用水道の4事業により1日当たり1,450,600m³の給水能力を有し給水を行っています。



●愛知用水工業用水道

名古屋市南部及び名古屋南部臨海工業地帯の工場に工業用水を供給するため、愛知用水事業の一環として1958年度に日量86,400m³の第1期事業に着手し、1961年12月から愛知県営工業用水として初めて給水を開始しました。

その後、あいつぐ企業進出に伴う水需要増加に対処するため、1961年度～1964年度、1973年度の第2期事業、1965年度～1972年度の第3期事業と順次事業を拡張し、

1970年度から第4期事業に着手して、現在では、牧尾ダム、阿木川ダム、味噌川ダム、矢作ダムを水源として、日量845.6千m³の施設能力で給水する一方、1990年2月に大府・阿久比地区に、2004年4月に豊田・三好地区に、2005年4月には東浦地区にも給水を開始しました。

今後も水需要の動向を見ながら施設の整備を図ります。



知多浄水場（2018年8月撮影）



牧尾ダム（2006年8月撮影）

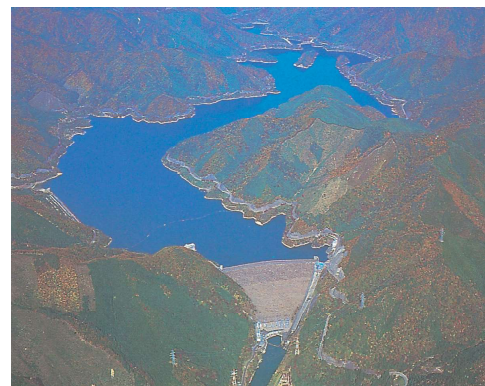
●尾張工業用水道

尾張地域は良質で豊富な地下水に恵まれ、古くから繊維工業を地場産業として発達してきました。しかしながら、戦後の経済発展に伴う地下水使用量の大幅な増加により地盤沈下が顕著となり、その区域の広さと沈下量が全国一といわれる程激しくなりました。

このため、地盤沈下の防止対策として、県条例等による地下水揚水量の厳しい規則と共に、地下水揚水量の約3分の2を占めていた工業用水について代替水源の確保のた

め、岩屋ダムを水源として、日量290千m³の尾張工業用水道第1期事業を計画し、1977年度から浄水場や管埋設工事に着手して1985年8月から給水を開始しました。

その後、事業所の廃業により契約水量が減少したため、尾張工業用水道第1期改築事業では、日量150千m³での改築を実施し、2017年度に完了しました。今後も水需要の動向を見ながら施設の整備を図ります。



岩屋ダム（1996年11月撮影）



尾張西部浄水場（2018年8月撮影）

名称		所在地・電話番号	現在給水能力	完成時給水能力	給水区域(給水先事業所数)
愛知用水水道事務所	上野浄水場	〒476-0002 東海市名和町蔵山7 TEL (052) 604-4132	m ³ /日	m ³ /日	名古屋市港区のうち堀川以東の区域及び南区のうち東海道本線以西の区域、豊田市のうち2005.3.31における豊田市の区域、東海市、大府市、知多市、みよし市、阿久比町、東浦町
	知多浄水場	〒478-0015 知多市佐布里字西池之脇8 TEL (0562) 55-3501	172,800	172,800	
尾張地産所	尾張東部浄水場(東郷)	〒470-0151 愛知郡東郷町大字諸輪 字北木戸西48-265 TEL (0561) 74-3071	200,000	200,000	
計			845,600	845,600	107事業所 (2024年4月1日現在)

名称		所在地・電話番号	現在給水能力	完成時給水能力	給水区域(給水先事業所数)
尾張水道事務所	尾張西部浄水場	〒494-0014 一宮市上祖父江字南外山271 TEL (0587) 97-1176	m ³ /日	m ³ /日	一宮市、津島市、江南市、稲沢市、愛西市、清須市のうち旧清洲町の区域、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村
計			150,000	290,000	77事業所 (2024年4月1日現在)